

2022 年 前期 グローバルパーソン集中プログラム (GRIP) 報告

全学的なグローバル人材育成を目的として2021年度から開始したGRIPも3期目を迎えました。今回は4か月間のプログラムに13名の学生が参加し、マレーシアマラッカ技術大学 (UTeM) 教員らによる英語授業、本学留学生との徳島中央公園でのオリエンテーリング、本学総合科学部を卒業した中川雅貴氏によるGlobal講演会、マレーシア工科大学 (UTM) 学生とのオンライン交流会、そして南イリノイ大学が提供する4週間のオンライン留学を通して、英語力と異文化対応力の向上に取り組みました。

今回新たに取り入れた徳島中央公園でのオリエンテーリングは、GRIP参加学生と外国人留学生と一緒に園内の歴史的ランドマークを巡るというもので、参加した日本人・留学生にとって徳島を知るとてもいい経験になりました。

今後も全学的にGRIPを展開していく予定です。留学のための支援金(返済不要)にも申請できますので、経済的にも参加しやすいプログラムとなっています。

GRIPに参加するまで、すべて英語で行われる授業を受けて自分の意見を英語で述べるのがなかったため、GRIPに参加したことは私にとって非常に刺激になった。マレーシア学生とのプロジェクトワークや日本語インタビューでは、マレーシアの文化や制度を学んだだけでなく、二か国語以上話せる人が更に日本語を学んでいること、勉強への熱意がとても高いことを知り感銘を受けた。また、英語に興味があり共通の目標を持つ人たちと学年や学部の垣根を越えて知り合えたことは貴重な経験だったと感じる。今後は、英語の勉強と専門分野の勉強を両立しつつ、様々な活動にも積極的に参加したい。

薬学部1年 Y. S.



GRIP 参加学生 の感想



GRIPの授業では英語の能力が鍛えられただけでなく、異文化に対する理解が以前より深まったと感じる。GRIPでは海外に留学していた方の話を聞いたり、留学生と英語で会話する機会があったが、それらの活動を通して、海外の習慣であったり食文化、また宗教といった文化を知ることができ、海外への理解が深まり、GRIPを受講する前と比べて、物事を一つだけの視点ではなく、より多くの視点で見ることができるようになったと感じる。

理工学部2年 Y. I.



徳島中央公園でのオリエンテーリング



GRIPでの学習活動

前期 海外研修プログラム報告

【南イリノイ大学 (SIU) オンライン留学】

8月22日から9月16日までの4週間、アメリカ・南イリノイ大学とオンライン留学プログラムを実施し、13名の学生が参加しました。コロナ禍で実際の海外留学ができない状況でしたが、オンラインで海外協定校の教員の授業を受けたり現地の人たちと話す機会を提供しました。また、SIUのオンライン授業に加えて、本学の教員がレベル別に分けたサポート授業を週2回行いました。これは授業でうまくコミュニケーションがとれないという学生の声に対するもので、英語能力強化や、オンライン授業での具体的対応などについて指導を行いました。



SIU オンライン留学 参加者の感想

ネイティブと一定時間
毎日話す時間が取れ、
スピーキングの特訓に
なった

サポートクラスでは
人数が少なく、
SIUの授業より話す
機会が得られた

他の国の英語を勉強
している人とも勉強
することができ、い
ろいろな英語の発音
を聞いた

英語の4技能全て
上がった実感がある。
外国人の友達ができ
た!

自身の積極性や
視野が広がった

サポートクラスも
日本語ではなく英語
でうけることで、話す
力が伸ばせた

NUSとの交流



2022年9月29日

シンガポール国立大学 (NUS) との交流

シンガポール国立大学との交流を9月29日(木)に実施しました。今回は「シンガポールと日本におけるSDGsの実践」をテーマに事前学習を行ってから交流をしました。本学学生20名とNUS学生56名が参加しました。参加者からは、「準備期間は短かったものの、SDGsに関して知らなかったことを調べられたので良かった。実際の交流では、シンガポールの土地不足について知ることができた」などの感想がありました。



インターナショナルオフィス 最近の主な活動

渡日前入学許可制度・日本留学フェア

本学の卒業留学生同窓会と連携しながら、2023年度および2024年度の「渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜」(II型「日本語等予備教育なし」、I型「日本語等予備教育あり」)の一次選考を実施しました。時事日本語学院(韓国)からの応募者は3名で、理工学部希望が2名、総合科学部希望が1名でした。一次選考を合格した3名のうち、1月の二次選考で合格した学生が2023年4月に入学する予定となっています。

7月30日(土)、教職員がJASSO主催日本留学オンラインフェアに参加しました。本フェアは、日本留学を志す学生及び日本の高等教育機関への進学を目指す外国人学生を対象に、日本への留学促進を図る目的で開催されました。本学のセッションには、国内外からのべ178名の参加があり、英語で大学概要や、各学部・大学院の紹介、留学生に対する支援制度等の説明を行いました。その後、奨学金、出願資格、履修可能なコース、住居等について多くの質問がありました。全世界を対象としたライブセッションだったので、日本への留学希望者の声を直接聞くと同時に、広く本学の魅力を発信することのできる良い機会となりました。



オンライン日本留学フェア

日本語教育

新型コロナウイルスの影響で、徳島大学へ来る外国人留学生の数は限られていました。今年度は徐々に留学生の数が増加し、日本語学習の必要な学生も増えています。2022年度前期、日本語研修コース(集中型)は開講しませんでした。総合日本語(週2回の補講型)は6レベル7クラスを開講し、合計38人の学生が履修しました。主にオンラインで授業をしましたが、可能な場合は対面形式で行いました。

徳島大学の日本語教育では現在、オンライン教材の作成を進めています。基本文型のスライドを約220本、語彙・文法動画を約50本、漢字学習シート約80枚を作成し、オンラインでの語彙テストもできるようにしています。今後は、さらに内容を充実させると共に、留学生が効率的に日本語学習のできる環境を整えていきます。



日本語学習のためのサイト

留学生のための就職支援

今年度は留学生就職支援プログラムとして計9回のセミナー・イベントを計画しており、前期はそのうち4回を実施しました。

- | | | | |
|--------------------|-----------------|------------|----------|
| ・「日本の就活・就職について学ぼう」 | 5月13日(金) | 留学生: 16名参加 | |
| ・「インターンシップについて学ぼう」 | 6月10日(金) | 留学生: 26名参加 | |
| ・「ジョブフェア&交流会」 | 7月8日(金) | 留学生: 7名参加 | 県内企業5社参加 |
| ・「県内企業インターンシップ」 | 9月21日(水)、22日(木) | 留学生: 5名参加 | 県内企業2社訪問 |

「県内企業インターンシップ」の回では、四国化工機株式会社と富士フアンチア株式会社でのインターンシップを実施しました。会社内での実際の作業風景を見学し、実際の現場で働く方からの意見やコメントを聞くことができたことは、留学生の就職活動を大きく後押しするものとなりました。



インターンシップ工場見学

留学生への生活指導

本学に入学した新入留学生に対し、留學生活の円滑化を図るために、前期及び後期に常三島・蔵本キャンパスでガイダンスを開催しています。前期は4月27日(水)と6月2日(木)に蔵本地区で、4月28日(木)、6月1日(水)および8月22日(月)に常三島地区で開催し、計43名が参加しました。ガイダンスでは教員からの説明に加え、徳島中央警察署の講師が防災、交通安全、110番通報の仕方などについて解説しました。

近い将来必ず発生すると言われている南海トラフ巨大地震への備えとして、緊急地震速報の内容や地震発生の際の避難方法について詳しい説明をうけました。ガイダンス終了後には、徳島地域留学生交流推進協議会の関係機関から寄付していただいた食料品や日用品等を希望者に配付しました。



前期新入留学生ガイダンス(常三島)



前期新入留学生ガイダンス(蔵本)



日用品などの配付

